



公明党
内藤美佐子
ないとうみ さ こ

災害見舞金支給条例の改正について 生活に支障のある「一部損壊」を対象に！

問 全焼・半焼に至らない一部損壊火災に対しても見舞金を支給しては。

答 福祉課長 見舞金は脱財政硬直化宣言にて見直しを進めている扶助費であるため、拡大するのは難しい。

答 町長 様々な災害があるので引き続き研究する。

自転車安全利用の推進

問 自転車の危険運転に罰則が強化された。町民を自転車事故より守るための施策推進に、「仮称）自転車安心心安全条例」の策定は。

答 自治安心課長 2年間、本町が交通安全対策協議会の会長を務めるので、2市1町足並みを揃えて条例策定を検討したい。

学童保育の充実

問 本年度より対象者が小学6年生まで拡大したが、昨年申請時に新6年生への周知が行き届かず、知らない保護者が多い。申請すれば新6年生の「夏休み利用」は可能か。

答 こども支援課長 6月10日までに申請あれば可能。対象者には丁寧に周知する。

これからのまちづくり

問 少子高齢化への対策は。

答 政策推進室長 子育て支援を優先事項のひとつとして事業推進していく。

問 市制施行を目指すか。

答 政策推進室長 思い切った施策展開と財源が必要。総合計画の8年の中では厳しい。

問 農業振興地域整備計画の改定は。

答 産業観光課長 前回改定から年数の経過により環境や農業者の考え方も変わっているの、見直したい。

問 三芳スマートロードの駅一設置は。

答 町長 都市計画マスタープラン「三芳バザール賑わい公園」の具現化を図る。



藤久保小学校で行われた交通安全教室



公明党
岩城桂子
いわき けい こ

妊娠期から子育て期まで一貫した支援を 子育てケアプランの作成を！

問 切れ目のない妊娠・出産支援のために日本版ネウボラの取り組みで、妊娠期相談支援体制はどうか。

答 保健センター所長 両親学級・こんにちは赤ちゃん訪問・子育て講座・乳幼児健診など関係課と連携し切れ目なく支援している。

問 ワンストップで子育て包括支援するため既存のネットワークや施設を活用して、コーディネートする拠点の整備はどうか。

答 こども支援課長 各課と連携し子育て支援の充実と窓口の一本化、母子保健の連携を図っていききたい。

問 子育てケアプランの作成はどうか。

答 こども支援課長 今後拠点整備ができれば検討していきたい。

公共交通の充実を！

問 デマンド交通の実施に向け具体的な対応と周知は。

答 政策推進室長 運行時間の延長や乗降場の増設・利用者の増加を図っていく。

問 公共交通空白地における

ライフバス等の計画は。

答 政策推進室長 バスの運行改善など交通審議会等で定期的に協議していく。

高齢者対策について

問 ふれあいセンターの現状と今後の計画はどうか。

答 福祉課長 代替の社会福祉施設を検討している。

問 藤久保拠点ゾーンに総合福祉センターの建設は。

答 福祉課長 今後、健康福祉事業として公共マネジメントの中で検討していく。

問 余熱利用施設エコパが開設されて一年になるが送迎バスの改善策はどうか。

答 環境課長 運営協議会に改善要求していく。

その他の質問

①児童虐待の現状と対策は
②期日前投票所の増設について





三芳みらい
 抜井尚男
ぬくい ひさお

三芳町の明るい未来のために行財政改革を！ 早急な行財政改革プランの策定を

問 経常収支比率とは地方財政のエンゲル係数で、100%に近いほどゆとりがないことになり、市町村では80%以下が適正である。二年間行われてきた、脱財政硬直化宣言の結果は。

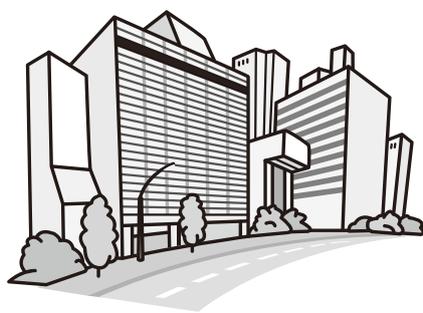
答 **政策推進室長** 数値的な結果としては、経常収支比率は、平成25年度の目標98%に対して結果は96.6%であった。平成26年度は決算が確定していないため数値は出ないが、アクションプランの実行の中で削減効果が目標値に達成しなかった項目があったので厳しい数値であると思われる。

問 三芳町の経常収支比率は埼玉県内で平成23年度からずっと悪い方から一位であり平成20年度から6年間以上も90パーセント以上であるが、担当としては原因をどう捉えているか。

答 **政策推進室長** 経常的経費が慢性的に多く歳入が減少している。扶助費や公債費の割合が他の類似団体（人口規模や産業構造が類似した自治体のこと）よりも多いと認識している。

問 特に法人の税収についての様に捉えているか。

答 **政策推進室長** 三芳町の税収は優良な状況だが、



国からの交付税が貰えない関係から歳入部分と義務的経費の部分でこの様な比率が出ていると思っている。

問 4月より埼玉県庁より赴任の副町長に見解を伺う。

答 **副町長** 三芳町は従来財政力が強く長い間不交付団体である。その強い財政力を背景に公民館や保育所・児童館など町直営の公施設運営等の、他市町村より充実した行政サービスを行ってきたが、近年の税収減により財政が硬直化している。今後は大綱に基づき事務事業・施設運営管理や職員定員管理を見直し弾力性を持つべきと考える。

町民福祉向上のための施策について いのちと財産を守る雨水対策拡充を！



公明党
 小松伸介
こまつ しんすけ

問 昨年度の被害状況は。

答 **自治安心課長** 床上浸水等の被害はないが、各地で道路冠水が発生した。

問 DVD等で集中豪雨等に対する研修を実施しては。

答 **自治安心課長** 正確な情報を住民の方に学習して頂き、職員も共有する事は重要と認識。検討していく。

問 学校でも実施しては。

答 **学校教育課長** 各学校に紹介し活用を勧めていく。

問 今後のハード面整備は。

答 **町長** 町全体の雨水計画をしっかりと作っていく。

道路行政について

問 幹線14号線の道路修繕・幼稚園周辺の歩道設置は。

答 **道路交通課長** 部分的修繕で順次対応する。歩道は必要と思うが設置は困難。

問 幹線15号線の拡幅・歩道設置をすべきでは。

答 **道路交通課長** 拡幅・歩道設置は困難だが、路面標示やグリーンベルトを設置し、安全対策を講じる。

問 幹線7号線歩道に転落防止の防護柵を設置しては。

答 **道路交通課長** ガードパイプの設置を検討する。



歩道設置が望まれる幹線14号線 幼稚園前

福祉行政について

問 見守り体制の拡充は。

答 **福祉課長** 社会福祉協議会や民生委員等の連携を密にし、共助の取組の構築を進めると共に、機器による見守りの拡充も検討する。

問 エレベーターのない中層住宅に住む車椅子の方へ階段昇降機等を補助しては。

答 **福祉課長** 安全性の確保・ニーズの量・費用を勘案し、今後検討していく。

公園について

問 プレリーリダーを募って公園でボール遊びを可能にする事は出来ないか。

答 **都市計画課長** 良い案と考える。区や関係各課と相談し、今後検討していく。



新芳会
細谷 三男
ほそやみつお

交通量増加箇所は早期に道路整備工事を！ 安心して登下校できる拡幅・歩道整備工事を

問 三芳スマートIC利用車1日平均の推移(出口利用車)は、どのような状況か。

答 **総合調整幹** 社会実験の年は約400台、恒久設置の年は約1100台、現在は約2500台である。

問 三芳スマートICフル化計画説明会資料の主経路想定はどのような方法か。

答 **総合調整幹** 国土交通省で定めた将来交通量推計手法である。

問 三芳野病院前にバス停留所を新たに設置する請願が採択されたが、狭小道路へのバス進入は疑問が生じる。担当課の感想は。

答 **政策推進室長** 請願が採択され、反対要望は不採択となった。新しい路線については、自治体と地域が一体となりネットワークを構築することが望ましい。今後デマンド交通も本格化する中で、全体の再編計画の中で考えていきたい。

問 幹線5号線の交通量は日々増加し、三芳スマートICフル化により更に交通量の増加が予想される。安心して登下校できるような現況測量を実施して、歩道設置の道路形態を計画しては。

答 **道路交通課長** 現時

点では難しいが、路面表示等は実施したい。

職員の健康管理体制は

問 ストレステックの導入が義務付けられることになるが職員への対応は。

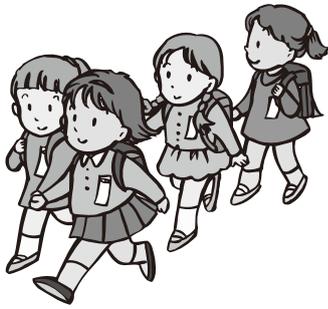
答 **総務課長** すでにメantalヘルスチェックを2年に1度実施しているが、それと同様と考える。

問 職員が幾分疲弊しているように感じるが、人員配置と仕事量は適正か。

答 **総務課長** 各課長とヒアリングの実施により人員配置をしている。

その他の質問

①公務災害について



三芳スマートICフル化大型車導入計画 交通安全対策ができないなら中止すべき

問 三芳スマートICフル化計画で地区協議会に住民の意見が反映されているのか。

答 **総合調整幹** 直接的な影響ある行政区長が参加している。

問 工事費用の概算は。

答 **総合調整幹** IC本体工事14億円、周辺整備7億円。町の負担分は9億円だが、半分程度は国の交付金を活用したい。

問 アクセス道路の交通安全対策が不十分ではないか。

答 **道路交通課長** 県道三芳・富士見線については路線に面し開発があった際には県で予算を確保したいと返答を得ている。

自然エネルギーの活用

問 原発は、一度事故を起こすと地域そのものを崩壊させてしまう。住民の暮らしと命を守る首長の立場として、町長は原発に対してどのように考えるか。

答 **町長** 一度事故が起きれば広範な地域に被害をもたらす原発への依存は低減すべきと思う。

問 三芳町も自然エネルギー活用を力を入れ始めたが、原発依存からの脱却、地球温暖化防止、地域の雇用づくりの観点からも、埼

玉県は「快晴日数日本一」の利点を活かし、更に太陽光発電を押し進めるべきでは。

答 **町長** 町でできることは積極的に進めていきたい。

問 町民と共同し太陽光発電を進めるためには「自然エネルギー推進条例」を制定すべきでは。

答 **環境課長** 持続可能な地域づくりのために条例制定へ向け検討したい。

町道の歩道整備

問 町道の歩道整備が遅れており通学路が危険である。

答 **道路交通課長** 歩道整備は難しいが、看板、路面表示などで対処したい。



危険な通学路



三芳みらい
井田和宏
い だ かず ひろ

町民の健康、生きがいづくりについて 健康寿命の延伸を目指して

問 健康づくり推進計画の進捗状況は。

答 健康増進課長 予定より遅れているが、今年度中に策定していききたい。

問 特定健診受診率を向上させるための対策は。

答 住民課長 広報紙、HP、ポスター等での周知、受診勧奨はがき、受診券の郵送、また埼玉県国保連合会と県内市町村とでラジオ、テレビCMを実施し広報活動に努めている。

問 生活習慣改善を促すための方策は。

答 住民課長 受診者の中で改善が必要な方に特定保健指導を行っている。

問 キッチンスタジオを利用し、みよし野菜を使った料理教室を行うてはどうか。

答 中央公民館長 町内事業者とタイアップして、幅広い世代を対象として7回の料理講座を予定している。

問 自然の森・総合スポーツ公園整備の進捗状況は。

答 都市計画課長 昨年度外周ジョギングコースの実施設計を行った。今後整備を進め、町民の健康づくりに寄与していきたい。

問 公園内に健康遊具を設置しては。



中央公民館のキッチンスタジオ

答 都市計画課長 これまでも設置しているが今後も積極的に設置していきたい。

問 町民や団体との協働は。

答 生涯学習課長 スポーツリーダーの不足も見受けられ、更に団体や個人との協働を進めていきたい。

問 健康ポイント制を導入してはどうか。

答 健康増進課長 制度は導入せず、各事業への参加促進を研究していきたい。

問 今後の中央公民館の事業展開は。

答 中央公民館長 地域団体や学校との連携を図りながら、施設の機能を活かし幅広い世代に対応した事業を展開していきたい。



新芳会
鈴木淳
すず き じゆん

新教育長制度・雨水対策について 隣接市との雨水対策協議を請う

新教育長制度について

問 新教育長制度による変化は。

答 教育総務課長 従来の教育長、教育委員長を統合したポストで、責任の明確化や迅速な会議の招集が実現される。

問 三芳町での制度取り入れ時期は。

答 教育総務課長 平成29年10月からになると思われる。

問 常勤の新教育長に対し、非常勤の教育委員は発言力や位置づけが弱くならないか。

答 教育総務課長 教育委員による教育長の監視機能も強化されており、従来の教育委員と立場が変わることはない。

問 総合教育会議の開催予定は。

答 教育総務課長 6月中に開催を予定している。

雨水対策について

問 現在把握している雨水対策が必要な地域は。

答 上下水道課長 町内で15か所になる。

問 その地域の雨水管整備の予定はあるのか。

答 上下水道課長 雨水



計画を立ててからとなる。

問 藤久保1番地地域のように、隣接市から流入してくる雨水対策は。

答 上下水道課長 当該地区については、平成25年11月にふじみ野市に要望書を出しているが、今回の質問を機に再度確認をしたい。

問 同様に隣接市との協議が必要な地区の対応は。

答 上下水道課長 確認ができ次第、該当市と協議する。

その他の質問

① 中小企業診断士でつくる任意団体MPAとの、シタイプロモーションに関する相互協力の協定締結について



三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

三芳町の財政に関して 今後の見通しと対策は

問 借金の返済である公債費が増大しているが、平成29年度と30年度の見込みは。

答 財務課長 平成29年度は約15億円、平成30年度は約14億9000万円を見込んでいます。

問 平成27年度と比較して平成29年度は公債費が約2億4500万円、平成30年度は約2億3400万円増大すると思われる。来年度も公債費は1億2000万円増加するが、財源確保のために一般会計の歳出を削減する必要があると思う。目算はあるのか。

答 財務課長 選択と集中により、事業の徹底的な見直し、義務的経費以外の経費の削減、予算の枠配分採用などを検討している。

問 行財政改革は、現場を担当する職員が行財政改革の重要性を十分に理解することが重要だと考える。一つのやり方として、予算のシーリングを現場の各課に提示し、その枠内で各担当課が歳出の削減、そして業務改善を行う事が効果的ではないか。



答 財務課長 今年度の予算編成では、当初の予算要求が予算規模を50億程度上回ったことが問題だと感じていた。平成28年度の予算編成では、枠配分及びシーリングを含めた形で行う事を検討している。

問 今後、町の財政は益々厳しさを増してゆく。歳出削減を実施するなかで、財政負担が大きいとの理由だけで、弱者切り捨てが行われることを懸念するが、町長はどの様に考えているか。

答 町長 財政が厳しい状況には職員が一丸となって取り組み、また町民の皆様及び議会の理解が不可欠と思っている。行財政改革では弱者の切り捨てを行うつもりはない。必要などころに必要な予算措置を行っていく予定だ。



三芳みらい
安澤 豊
あん ざわ ゆたか

藤久保地区、土地区画整備の現状 より良い、コミュニティーあふれる町へ

問 本町3地区（北松原、藤久保第1、富士塚）の土地区画整理区域内の住所表示は、5000番台の住所表示としていくのか。

答 都市計画課長 施行中の3地区、土地区画整備内においては、大字藤久保との町番で換地すると、法務局の指導により、5000番台の住所となる。せっかくの区画整理した地域であるため、町名を変えることにより、地番を小さく出来わかりやすくするよう、進めて行きたいと考えている。

問 現在の行政連絡区において、明確な目標物をもってして、区分がなされておらず、各区で不都合があるのでは。

答 自治安心課長 川越街道で東西に、区分が分断している地区において、学校区と行政区が一致していない為、区の事務活動や役員の人的な負担がある。

問 世帯数の増加による、各行政連絡区間の、規模は適正化をはかっているのか。

答 自治安心課長 各区長の負担は重いと感じている。小規模及び昔ながらのコミュニティーを大切にしていきたいが大前提だが、



こうした規模の適正化に関しては、各区長等を交え、調査研究する。

小学生登下校における防犯

問 スクールガードや小學校防犯ボランティアが、事件事故に巻き込まれた場合の対応は。

答 学校教育課長 学校支援ボランティア保険へ加入し、対応している。

その他の質問

- ① オリンピックキャンプ誘致
- ② 子供たちへ国際親善の場を
- ③ 世界へ向けて三芳町広報について



日本共産党
増田 磨美
ます だます み

子育て支援・ひとり親家庭への支援充実を！ ぬくもり健康入浴事業は、大事な施策では

問 現在、町の就学前児童全体の約10%、小中学校生徒では、約9%がひとり親世帯となっている。国民生活基準調査においては、ひとり親世帯の多くが経済的に厳しい状況である事が報告されており、支援対策の重要性を視野に入れた『母子及び父子並びに寡婦福祉法』が改正され、10月に施行された。ここでは、ひとり親家庭支援に対する自治体の努力義務が規定され、町としても支援強化をしていかなければならない状況。そんな中、今年度予算から廃止された就学祝い品事業（小中学校入学時に渡していた）をこのまま無くしてしまっているのか。

答 **こども支援課長** ひとり親家庭への就学祝い品30名分15万円は、重複する事業があるので、扶助費の検討委員会で廃止が決定した。しかし、額は少ない。今後は、町の財政状況を見ながら考慮し、検討していきたい。

問 **保育の充実を** 改築工事が進み今年度8月から使用開始となる第三保育所は、待機児解消のため定員20名増となる。



8月下旬に開所する第三保育所

保育士も3名増が必要。小さな子供の命を守る責任ある仕事のため、正規職員を配置すべきと思うが。

答 **こども支援課長** 定員増は平成28年度から実施する。正規職員を要望したい。

答 **総務課長** 第5次行政改革大綱を踏まえ、今後しっかりと検討していく。

ぬくもり健康入浴事業

問 健康維持や元気につながらる事業であり、多くの町民から復活を求める声を聞いているが。

答 **町長** 申し訳ないと思っている。財政状況により近隣市もやめている。状況が良くなれば考える。



日本共産党
吉村美津子
よしむら みつこ

三芳スマートICの大型車導入は断念すべき 公立保育所の運営は民間委託にすべきでない

問 三芳スマートICの大型車導入には、農地を購入することになる。地権者が売りたいくないと答えたと、町は地権者に対して圧力をかけないと思うがどうか。

答 **町長** 圧力はかけない。

問 町は、用地取得が難しいときには、三芳スマートICへの大型車導入を断念すべきではないか。

答 **総合調整幹** 地権者に協力してもらえよう、事業の必要性を説明したい。

問 三芳スマートICフル化・大型車導入では、町と国からの補助を合わせて20億円強の財政投入が試算されている。住民には財政が厳しいと、ライフバス券96枚を24枚に削減、スズメバチ駆除の廃止などがおこなわれた。今後も福祉施策を後退させるのか。

答 **町長** 三芳スマートIC計画とは別のことと思う。限られた予算の範囲内で福祉を考えていきたい。

保育所民間委託やめよ

問 児童福祉法第2条「国及び地方公共団体は児童の保護者とともに、児童を心身共に健やかに育成する責任を負う」と定めている。



関越自動車道の大型車

地方自治体の責任をどうとらえるか。

答 **町長** 責任を持つことは大事である。

問 保護者や将来を担う子供たちのことを本気で考えれば民営化が出てくるはずがない。国が推し進める経済効率から考えた保育施策とするのか、それとも住民・子供を大切にしているという姿勢を持って保育を行うのか、どちらか。

答 **町長** どちらとも言えない。両方とも大事と思う。

下水道使用料問題

問 下水道使用料値上げは行うべきでない。基金額は。

答 **上下水道課長** 約1億円。



新芳会
細田 三恵
ほそだ みつえ

中学校教科書採択の考え方について 「愛国心」を教える歴史教科書を

- 問** 三芳町の教科書採択地区はどのような構成か。
- 答** 学校教育課長 富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、毛呂山町、越生町、三芳町で第10採択地区を構成する。
- 問** 三芳町教育委員会と、教科書採択地区は、どのような関係になっているか。
- 答** 学校教育課長 第10採択地区協議会を7月27日に予定。三芳町からは、教育長、教育委員長が参加する。
- 問** 教科書展示会の日程は。
- 答** 学校教育課長 町役場7階で、6月19日から7月6日まで開催する。一般の方々にも見て頂きたい。
- 問** 展示会でのアンケートの意見はどのように反映されるか。
- 答** 学校教育課長 内容はまとめて参考にします。
- 問** 「愛国心」を育てる事を重視した歴史教科書を採択すべきではないか。
- 答** 教育長 歴史的分野では歴史の大きな流れを理解させること、伝統と文化の特色を考えさせること、わが国の歴史に対する愛情を深めることなどが工夫されているかなど様々な観点から検討する。

- 問** 三芳町いじめ防止基本方針について
- 答** 学校教育課長 小学校8件、中学校13件。
- 問** いじめは、犯罪である。「いじめ基本方針」を発展させ、罰則を含む「条例」として定めるべきでは。
- 答** 学校教育課長 総合教育会議にて検討する。
- 問** 降日本の根底にある自虐史観を払拭すべき」と言うことは同意見であり、その意味で教育基本法の改正は意義がある。最終的には教育委員会の判断に託したい。
- 問** 本年度の「いじめ」の報告件数は何件か。
- 答** 学校教育課長 小学校8件、中学校13件。



久保 健二
くぼ けんじ

子供達を守る！危険箇所の安全確保の徹底 他の自治体に遅れをとるな！三芳創生を！

- 問** 町内通学路で指定されている危険箇所は何か所か。
- 答** 道路交通課長 18か所。
- 問** 対応、未対応の箇所は。
- 答** 道路交通課長 対応箇所16か所、未対応2か所。
- 問** 事故を未然に防ぐためにも早期対応が必要では。
- 答** 道路交通課長 予算の範囲内で出来る限り対応する。
- 問** 今年度の防犯灯・街路灯の設置件数及び設置箇所は。
- 答** 道路交通課長 今年度は30基程度の設置を予定している。
- 問** 暗い箇所が多く見受けられるが対応策は。
- 答** 道路交通課長 地域住民の要望、夜間現地調査を行いLED灯を設置したい。
- 問** 犯罪の抑制の意味でも対策が必要では。
- 答** 道路交通課長 防犯上、危険度の高い箇所より優先的に設置していきたい。

デマンド交通について

- 問** 土日運行しない理由は。
- 答** 政策推進室長 利用者が少なく、費用対効果の観点からも運行は厳しい。
- 問** 再三、他の自治体同様に玄関前までの送迎を提案してきたが出来ない理由は。
- 答** 政策推進室長 既存のタクシー業との競合や1回の乗車時間の延長により、多くの方が乗れなくなる。乗降場を増やして対応する。
- 問** 地方創生について
- 問** 当町の創生の方向をどのように考えているか。
- 答** 政策推進室長 人口減少社会の中でも、地域の活力を維持し住民が心豊かに暮らしていける町を創る。
- 問** 人口を増やすため、人口減少に歯止めを掛けるために何が必要と考えるか。
- 答** 政策推進室長 地域の将来を担う人材を育て住民参画を促進し、町に誇りと愛着を感じる人を増やすこと。



通学路の危険箇所